



天然藍染

PREMIUM LINE
FUROSHIKI

むす美の天然藍染ふろしきは、阿波藍の産地として名を馳せた徳島県で藍の栽培から染色まで一貫して行う藍師・染師「BUAISOU」によって100%国産の天然藍を使い、伝統的な染色技法により1枚ずつ手作業で染められています。藍染の染物には消臭・防虫・抗菌効果があることから、武士が鎧の下に藍染の肌着を着ていた事は有名です。包む・運ぶ・保管する役目を持つ、ふろしきにも藍染は適した染め方なのです。一点一点微妙に異なる染具合は手仕事の証。洗うほどに藍に含まれるアク成分が抜けて色が冴え、使うほどに持ち主に合わせた経年変化を遂げる愛着をもって長年ご愛用頂ける一枚です。



100 天然藍染 野老(ところ)むすび

¥35,000(税抜) 約100cm||綿100%||箱入

※本商品は他の商品と掛率が異なります。



野老朝雄 Asao TOKOLO / 美術家

1969年東京生まれ。建築家 江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動続ける。単純な幾何学原理に基づいた紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行なっている。主な作品に東京2020 オリンピック・パラリンピックエンブレム、大名古屋ビルヂング下層部ファサードガラスパターン、大手町パークビルディング屋外彫刻などがある。

黄金比 唐草

数学的な曲線から生み出された唐草紋は、野老氏の現代の唐草紋を追求する一環で生まれました。唐草の蔓の曲線は黄金比を基に描かれ、レイアウトされています。ふろしきの右下に唐草が集まる構図は、包んだ時のことを考えたデザイン。左下の落款が見えるように包んでも様になり、また違うふろしきの表情が楽しめます。

藍を無地で染めた後に、型を乗せ柄の部分の色を抜く「抜染」という手法で染められており、手仕事ならではの1枚1枚異なる表情や持ち主の使い方に合わせた経年変化をお楽しみ頂けるふろしきです。

New!



黄金比 唐草 濃藍
20822-301



New!



黄金比 唐草 藍むら染め
20822-302



100 天然藍染 kata kataむすび

¥35,000 (税抜) 約100cm || 綿100% || 箱入

※本商品は他の商品と掛率が異なります。



kata kata (カタカタ) / 型染めアーティスト

松永武さんと高井知絵さんの二人からなり、ものがたりを想像できるような、会話の生まれるデザインの染布の制作を行う。型染め、注染、プリントによる染布を制作し、展示会やグループ展に多数出展。手ぬぐい等の雑貨は全国の雑貨店などでも取り扱われ人気を博している。

クマの親子

森の中がふわふわの葉っぱに包まれる季節、くまの親子の寝ぐらを覗いてみました。きょとんとした表情と、丸みのあるふくよかなシルエットがかわいい親子です。

New!



クマの親子 濃藍
20823-301



鶴亀

長寿延命の縁起物として、そして毎日が華やかになるようにと想いを込めて、松竹梅に囲まれた鶴と亀です。のびのびと仲良く円を描く姿と、藍色と白色の対比が印象的。

New!



鶴亀 濃藍
20823-302



100 天然藍染 むす美 対角絞り

¥38,000(税抜) 約100cm||綿100%||箱入 ※本商品は他の商品と掛率が異なります。

対角絞り

対角線で分けた半分を絞り上げ、藍液に浸す工程を絞る方向を変えて2回繰り返すことで、藍の色の重なりと絞りならではの味のあるムラ感を表現しました。古来からの染の技法で、藍染めの特徴を活かしながらも、ふろしきを使う方向によって異なった藍の色を楽しめるデザインとなっています。

New!



対角絞り 濃藍
20903-301



100 天然藍染 むす美 市松段染め

¥35,000(税抜) 約100cm||綿100%||箱入 ※本商品は他の商品と掛率が異なります。

市松段染め

ふろしきを広げた状態で一段ずつ染液に付ける工程を方向を変えながら全部で4回、全体を薄く染める工程を1回行うことで藍の色の重なりを表現しています。手間暇をかけ、何度も重ねて染めることによって生まれる美しい市松状の藍の濃淡は、包む方向によって異なる藍の色が現れ、包む楽しみに溢れています。

New!



市松段染め 濃藍
20904-301



PREMIUM LINE

FUROSHIKI

むす美プレミアムラインについて

むす美（山田繊維）は60年以上に亘り「ふろしき」という四角い布を様々な手法を駆使しながら現代の生活に取り入れられるよう力を尽くしてきました。中でもこのプレミアムラインは、伝統的な技法や時間をかけた手仕事をふろしきに取り入れた、これまでの大量生産品とは一線を画すシリーズです。商品としてのこだわり・魅力はもちろんの事、製造背景にある職人たちの苦労や熟練した技術を1枚のふろしきに込めてお届けいたします。

プレミアムライン第一弾は天然藍染。芸術家 野老朝雄氏、型染アーティスト kata kata、そしてむす美によりそれぞれ個性豊かにデザインされたふろしきを、藍師・染師 BUAISOU の手により1枚1枚丁寧に染め上げました。日本の伝統美や巧みな技術を感じることが出来る特別な1枚となっています。

BUAISOU 藍師・染師



徳島県上坂町を拠点に藍の栽培から染料となるすくも造り（藍の葉を発酵したもの）から染色までを一貫して行う藍師・染師。すくもに木灰汁、ふすま（小麦の糠）、貝灰のみを混ぜて発酵させる伝統技法「地獄建て」により、冴えのある藍色に染められるのが特徴。染色、オリジナル商品の企画・生産、藍染のワークショップ、アートワークの制作、展示会への出展など国内外で活動している。

藍の栽培と藍染

藍を種から育て、葉を発酵し、染料の元となるすくもを造り、藍瓶に藍を建て、染物として仕上げるまでの工程は、驚くほどの手間と時間を要します。BUAISOU が栽培する蓼藍（たदैい）は古来から日本で藍染に使われてきた植物で、種から栽培を初め、葉を醗酵してすくもになるまでに1年。すくもで藍を建て10日後から染色が可能になります。一度建てた藍は、刻々と色を変えていく生き物のような存在で、染師は常に藍液の様子を見ながら管理します。藍液の調子は日々変化し、染色濃度は上下しながらも徐々に染まらなくなっていきます。その為に複数の液を管理し、常に染められる状態をキープするのも染師の仕事です。また、染めた後の洗いにも数日を要し、染め上がるまでには気の遠くなるほど労力が必要です。



©BUAISOU

お取り扱い上のご注意・お手入れについて

本商品は天然の染料により、一枚一枚手作業で染められているため、色や形が一定ではありません。色ムラや柄のカスレなどは天然染料による手仕事ならではの味わいとしてご了承ください。お手入れやご使用上の注意は、下記をご参照ください。

○商品の特性上、軽い摩擦でも色落ちや色移りが発生しますのでご注意ください。○白や淡色の物と重ねて保管することは避けてください。色移りする場合があります。○最初の2~3回はぬるま湯で中性洗剤による手洗いでやさしく洗濯することをお勧めします。○洗濯時に茶黄色の色素が出ることがありますが、これは藍染特有のアク成分で、洗濯を繰り返すうちにアクが抜け、天然藍染特有の鮮やかな色味が増していきます。○色移りすることがありますので洗濯機で洗濯するときは、他の物と分けてお洗いください。○漂白剤や蛍光剤は使用しないでください。○光により変色しやすいので、日の当たらない所で保管下さい。○アイロンはあて布を使用してください。